

2021 年度アートマイル国際協働学習プロジェクト実施報告

Artmile International Collaborative Learning (AICL)

一般財団法人ジャパンアートマイル (JAM)

(一財)ジャパンアートマイルは、背景が異なる海外の人々と協働して新しい価値を生み出す力を育てる国際協働学習を目指して、2021年度アートマイル国際協働学習プロジェクト(後援:文部科学省・外務省)を実施しました。2021年度には、これまでの学校支援に加えて、応募時にオンライン・ヒアリング、夏休みに2学期の学習に向けたオンライン・ミーティングを行い、各学習段階のポイントを示す To Do リストを提供するなどの新たな支援に取り組みました。また、初めて外務大臣賞と文部科学大臣賞を授与できることとなり、財団からの特別賞を加えて、他校の模範となる学習を実践した学校に各賞を授与しました。国際協働学習の質を高めることを目指した一年間の活動を報告します。

1 国内・海外の参加校

2021年度アートマイル国際協働学習プロジェクトには、23の国・地域から、104校4,107名の児童・生徒が参加しました。

【参加国・地域】23国・地域

インド、インドネシア、エストニア、オーストラリア、オランダ、カナダ、クロアチア、サウジアラビア、ジンバブエ、スペイン、スロバキア、台湾、トルコ、日本、ネパール、パキスタン、フランス、ベラルーシ、ベルギー、メキシコ、モルディブ、モンゴル、リトアニア

【参加都道府県】23都道府県

青森県、宮城県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、愛知県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、山口県、高知県、福岡県、熊本県、沖縄県

【参加校・参加生徒】

参加校数:104校 (日本52校、海外52校)

参加生徒数:4,107名

(日本2,499名、海外1,608名)

【参加校一覧】

NO	国・地域	日本校	海外校
1	Australia オーストラリア	愛知県 安城市立安城中部小学校	Hillman Primary School
2	Belarus ベラルーシ	青森県 青森市立東中学校	Gymnasium No.33, Minsk
3	Belgium ベルギー	兵庫県 県立芦屋国際中等教育学校	GO! Atheneum Unesco Koekelberg
4		長野県 長野県長野西高等学校	GO! Busleyden Atheneum Campus Pitzemburg
5		大阪府 大阪国際滝井高等学校	Go! Atheneum Keerbergen
6	Canada カナダ	兵庫県 赤穂市立原小学校	Bridgewood Public School
7		高知県 香南市立佐古小学校	Wyevale Central Public School
8	Croatia クロアチア	大阪府 大阪成蹊女子高等学校	Privatna Sportska I Jezicna Gimnazija Franjo Bucar
9	Estonia エストニア	京都府 木津川市立木津南中学校	Tamsalu Gymnasium
10	France フランス	奈良県 奈良市立伏見南小学校	Ecole Elementaire Balzac de Nanterre
11		神奈川県 横浜国立大学教育学部附属特別支援学校	Le Likes La Salle

12	India インド	愛知県 安城市立安城中部小学校	Suncity School
13		福岡県 北九州市立洞北中学校	Christ Nagar Public School Maranalloor
14		広島県 竹原市立忠海学園	Christ Nagar Higher Secondary School
15	Indonesia インドネシア	兵庫県 赤穂市立有年小学校	SDN Sagalaherang IV
16		福井県 嶺南学園敦賀気比高等学校 付属中学校	SMP Islam AI Azhar 9
17		東京都 多摩市立聖ヶ丘中学校	Amalina Islamic Junior High School
18		滋賀県 高島市立安曇川中学校	SMA Santo Paulus Pontianak
19		神奈川県 横浜市立本宿中学校	SMP Labschool Cibubur
20		宮城県 宮城県富谷高等学校	SMA Negeri 21 Kabupaten Tangerang
21		沖縄県 県立開邦高等学校	SMA Labschool Cibubur
22	Lithuania リトアニア	兵庫県 尼崎市立武庫東中学校	Laurynas Ivinskis Gymnasium
23	Maldives モルディブ	広島県 福山市立鞆の浦学園	Thaajuddeen School
24	Mexico メキシコ	福岡県 北九州市立中井小学校	Colegio Formus
25		愛知県 東浦町立緒川小学校	Colegio Formus
26		新潟県 見附市立葛巻小学校	Comunidad Educativa Yaxunah
27		広島県 AICJ 中学・高等学校	Colegio Ingles Americano
28	Mongolia モンゴル	山梨県 県立笛吹高等学校	Shine Mongol High School
29	Nepal ネパール	東京都 渋谷区立松濤中学校	Mount View English Boarding School
30		愛知県 名古屋市立山王中学校	Gorkha International Public Secondary School
31	Netherlands オランダ	千葉県 船橋市立葛飾中学校	Meander College Zwolle
32	Pakistan パキスタン	広島県 AICJ 中学・高等学校	Modernage Public School & Boys College, Abbottabad
33		東京都 東洋女子高等学校	Modernage Public School & Girls College, Abbottabad
34		埼玉県 県立飯能高等学校	Mansehra Public School & College
35	Saudi Arabia サウジアラビア	岐阜県 県立恵那高等学校	Al Hussan International School Al Khobar
36	Slovakia スロバキア	兵庫県 県立芦屋国際中等教育学校	School of Art Industry
37	Spain スペイン	熊本県 県立高森高等学校	IES Belen
38	Taiwan 台湾	愛知県 岡崎市立常磐小学校	Zongshan Elementary School
39		広島県 府中市立栗生小学校	Cheng-Kung Primary School
40		愛知県 安城市立安城中部小学校	Ying-Qiao Elementary School
41		千葉県 八千代市立大和田南小学校	Wen Ya Elementary School
42		茨城県 牛久市立おくの義務教育学校	Shaung-Xi Elementary School

43	Taiwan 台湾	千葉県 市川市立真間小学校	Wunsian Elementary School
44		大阪府 追手門学院中・高等学校	Chien-Kuo Junior High School
45		広島県 尾道市立瀬戸田中学校	Lu Jiang International School
46		高知県 香美市立香北中学校	Xinpu Junior High School
47		東京都 渋谷区立鉢山中学校	Fuhe Junior High School
48		熊本県 県立八代高等学校	Siaogang Senior High School
49		山口県 県立宇部高等学校	Hsin Chuang Senior High School
50		愛知県 豊橋中央高等学校	National Shan-Hua Senior High School
51	Turkey トルコ	神奈川県 横浜市立洋光台第一小学校	Mimar Sinan Primary School
52	Zimbabwe ジンバブエ	神奈川県 横浜市立鶴ヶ峯小学校	Helena Primary School

2 アートマイル国際協働学習

アートマイル国際協働学習は、海外のパートナー校とICTを活用して、世界の課題をテーマに対話的・協働的に学び合い、学習の成果として壁画を共創するプロジェクトベースの学習です。

相手との協働学習はJAMが提供するインターネット上のフォーラムを使って行います。

(1)アートマイルで育てたい力

アートマイル国際協働学習では、次の5つの力を育てることを目指しています。

①異文化を理解する力

世界と出会って異文化を理解する力
自分たちの良さに気付いて自文化を理解する力

②主体的に考え行動する力

世界に共通の課題に対して主体的に考え、
相手に働きかけて学習をリードする力

③批判的に思考する力

外からの視点で客観的にものを見て、
論理的・批判的に考える力

④多様な他者と対話・協働する力

多様な考えを持つ相手と議論し、合意し、
協働して新しい価値を生み出す力

⑤想いを表現する力

世界の人に伝えたい想いを言葉で表現する力
想いを絵で表現する力

(2)学習テーマは SDGs

学習テーマは今世界が直面している課題です。自分たちの地域の課題をSDGsという世界共通の達成目標に関連付けて、世界の仲間と解決策を考えます。世界で起きている問題を自分事にして考え、議論を重ねて自分たちの答えを模索します。



(3)国際協働学習の流れ

2021年度の国際協働学習は次の5つの段階を追って進みました。

【出会い】自己紹介(6月～7月)

- ・6月に自分たちがSDGsの何に関心があるのかを伝えて自己紹介
- ・7月に自校でテーマについて調べ学習

【共有】テーマ学習(9月)

- ・テーマについて調べたことを相手と共有
- ・課題と解決策について意見交換

【融合】想いを形に(10月)

- ・多角的、批判的な視点で協働学習
- ・自分たちの未来について両方の想いを合わせてメッセージ作成

【創造】壁画制作(11月～12月／1月～2月)

- ・メッセージを込めて壁画を共同制作
(先に日本側が半分を描いて相手に送付、
海外側が壁画を完成させて日本に返送)

【評価】振り返り(3月)

- ・相手から届いた完成壁画を鑑賞
- ・学習全体を振り返って自己評価

(4) JAMの学校支援

JAMは国際協働学習の質を上げるために、これまでの学校支援に加えて新たに3つの学校支援を行いました。

- ①応募時に学校長・担当教師とオンライン・ヒアリングを行い、学校の応募趣旨を聞き、JAMからは国際協働学習のねらいを伝える。
- ②夏休みに担当教師とオンライン・ミーティングを行い、2学期に相手と議論をして学習を深めるポイントを助言する。
- ③協働学習の手引きとなる To Do リストを学習の各段階で作成し、参加校に提供する。

3 学習の成果

2021年度は前年度に引き続きコロナの影響で、多くの国で通常授業が突然オンライン授業やハイブリッド授業になる中での協働学習となりましたが、全ての学校で学習を完結することができ、参加校から以下の意識の変化が報告されました。

(1) 生徒の意識の変化

(生徒自身の言葉)

- ・アートマイルで世界が広がりました。前の自分よりも明日が楽しく感じるが多くなりました。(小学生)
- ・SDGsについて深く調べて現代の問題を考えたことで、改めてこの地球の問題がどれくらい深刻な問題になってしまったのかを知ることができました。知ることができた今、自分たちにできることを友達や世界の人と共有して行動につなげていけたらと思います。(中学生)
- ・ネパールの人たちは、SDGsを個人の問題ではなく国全体の問題として、政府の政策のことも考え

ていたことが印象的でした。(中学生)

- ・SDGsで取り上げられている課題は遠い世界のものではなく自分たちの身近に存在することなのだという意識を改めて持ちました。素直に意見を伝えることで相手と繋がっている実感が湧きました。相手から思いもしない意見が出たときには、お互いに批判的視点に立って意見交換ができてよかったです。自分がボランティアに参加しようと考え

ていたことが印象的でした。(中学生)

- ・世界の問題にも関心を示すようになり、今世界で起きていることが児童同士の話題に出てくるが増えました。(小学生)

- ・これまでにない規模の大きさを感じる学習に高いモチベーションを示し、今年度より導入されたタブレット端末を積極的に用いて情報を収集する姿が多く見られました。相手校とのコミュニケーションについても意欲的になりました。(小学生)

- ・現在のウクライナ情勢のニュースを聴き、隣国であるベラルーシの友達に対して様々な思いを馳せていました。世界情勢や歴史・文化に関心を抱く生徒が多くなったと感じています。(中学生)

- ・議論の論点に関して、日本側生徒の意見は身近で取り組めること、一人ひとりが日常ですぐに実践できることが多かったのに対して、ベルギーの生徒からは国連改革、社会制度や税制改革、私たちの生活を根本的に変えるべきだという主張が多く出ました。その擦り合わせをするために何度も質問や意見をやり取りする意欲的な姿勢が強まっていきました。(高校生)

- ・計画通りに進まない時の応用力、長期的に学びを進める持久力、相手の状況を推察する想像力、活動を主体的に牽引していく忍耐力が育まれました。(高校生)

(2) 教師の意識の変化

- ・教師のスタンスが「導き・育てる」から共に「悩み・考える」へ変化してきました。(小学校)
- ・外国の児童と交流することは難題だと思っていたのですが、やり方を工夫すれば方法はいくつもあ

り、その効果が座学の何倍にもなるということを実感しました。(小学校)

- ・日常の「種まき」の大切さを実感しました。活動の中で、これまでに触れたり考えたりしたことのある内容が多ければ多いほど、海外の生徒と接したときに新たに深く考える材料が生まれます。日々の取り組みは、その場で効果を発揮するというよりも、後になって種まきが繋がるものであることを再認識しました。(中学校)
- ・当初はどのようにまとめていくのか不安なことがありましたが、実際に生徒にやらせてみる、任せてみることで彼ら彼女らの力を伸ばすうえで大変重要であるということが実感できました。『教育は実践科学である』の思いを強くしました。(高校)
- ・問題を問題とするかしないか、世界の問題を自分事とできるかできないかは普段から自分が大事にし、生徒達にも伝えてきたことでした。しかし今回、相手が希望するテーマを共通テーマとすることで当初は自分自身が及び腰になっていたところ、生徒たちが学習を進めていくうちに変化していく姿を見て、私自身が『自分事』の意味について改めて考えることができました。(高校)

4 文部科学大臣賞・外務大臣賞授与

本プロジェクトはこれまで10年を越えて継続して文部科学省と外務省の後援事業として実施しており、2021年度に初めて両省より大臣賞を授与できることとなりました。

大臣賞の選校に当たっては2021年10月に選考委員会を発足し、東北学院大学学長特別補佐稲垣忠教授を審査員長として6名の審査員が参加校の協働学習を審査しました。

相手校とインターネット上で意見交換を行うフォーラムでの学習状況から、他校の模範となる優秀な取り組みを行った学校が大臣賞に選校されました。

また、惜しくも大臣賞を逃しましたが、それに匹敵する学習を行った学校に財団特別賞が贈られることとなりました。

■文部科学大臣賞

台湾の Kaohsiung Municipal Hsin Chuang Senior High School と協働学習を行った山口県立宇部高等学校に文部科学大臣賞が授与されました。

<評価>

国際交流をして相互理解を深める学習にとどまるのではなく、SDGsの1貧困、5ジェンダー平等、6安全な水、13気候変動、14・15海と陸の豊かさなど10の項目について両校で5つのグループに分かれて現代社会が抱える課題について考え、相手と議論し、解決策を一緒に考える協働学習ができていた。

特に日本側が双方の生徒の意見が一目で比較できるワークシートを作成して議論のベースとするなど工夫して学習をリードしていたところが素晴らしい。

お互いに相手から刺激を受けながら、批判的な視点で考え、多角的な視点で議論ができたこと、その結果「自分たちが一緒に社会の課題を解決していく」という意識が生まれたところを評価した。



<生徒の感想>

A: SDGsについては小学校や中学校で少しは学んだけれどぼやっとした感じでした。私にとって国を超えて一つのことを一緒に考えるのは今回が初めてのことでしたが、アートマイルを通して世界が今どんな課題を抱えているのか、その課題に対してどういう取り組みをしているのかが分かり、それからは何事もグローバルな視点で考えるようになりました。今の世界的なニュースについても、「もし自分の国で起きたら、自分はどうか考えるだろう？」という目線で考えるようになりました。

B: SDGsは世界で考えていけないといけない課題です。ですが、これまでは身近なことに目を向けるか、漠然としたことしか考えてきませんでした。今回、海外の高校生と一緒に考えることになって、世界がグローバル化する中で問題が複雑化しているけど、グローバル化して人が繋がるからこそ解決できることや、繋がるからこそ生まれる幸せがあることに気づくことができました。

■外務大臣賞

インドの Suncity School と協働学習を行った安城市立安城中部小学校に外務大臣賞が授与されました。

<評価>

教師同士のコミュニケーションがよく取れて信頼関係を築くことができていた。子どもたちはグループごとに相手校とペアを作ってフォーラム上でお互いの地域の文化や環境について教え合ったり、質問して答えたりすることで、インドと日本の子どもたちの間に友好の気持ちが深まっていることが確認できた。

「SDG14:海の豊かさを守ろう」をテーマにした学習では、自分たちの身近に起きていることと世界で起きていることにつながりに気づき、世界の海を守るために「自分たちが変化をもたらす存在になる」という想いに至ったところを評価した。



<生徒の感想>

A: 私はインドの子達と繋がれたことを誇りに思っています。お互いの国で起きている環境問題について話し合い、お互いの国が行っていることを調べ合えたことが印象に残っています。環境問題は日本だけで起きているのではなく、世界中で起きていることを改めて実感しました。私はインドの子と繋がれたことで環境についての目線が変わりました。これまで知らなかったり、目を背けたりしてきた環境問題ですが、SDGsのことを知っている私たちがこの環境問題に取り組む輪を広げ、解決できるよう努力していきたいと思っています。世界は地球で繋がっていて、その地球で起きているいろいろな問題は、世界全てが協力しないと解決できないと私は思います。私はアートの学習を通して、世界はもっと繋がりを必要

としていることを強く感じました。

■財団特別賞

ネパールの Gorkha International Public Secondary School と協働学習を行った名古屋市立山王中学校に財団特別賞が授与されました。

<評価>

「SDG3:すべての人に健康と福祉を」「SDG8:働きがいも経済成長も」をテーマに、それぞれの国で起きている問題が何か、その原因とそれが及ぼす影響は何かについて調べ、自分たちはそれをどう解決するのか、どうしたら自分たちの未来をよくできるかについてしっかり意見交換ができていた。オンライン会議でそれぞれの意見を発表した後もさらに質問をして答え合うなど、学習の全過程で相手の意見に対して自分たちの考えを返す意見交換がしっかりできて学習が深まっていた。最後に壁画制作の場面でも話し合いを重ねることで双方の想いが一つになり、自分たちのメッセージをキャンバスいっぱいに表示できたところが素晴らしい。意見交換を重ねることで協働学習が深まっていく過程は他校の手本になる。



<生徒の感想>

A: 差別に対してネパールは宗教・神話などが影響していると教えてくれました。差別については私たちと全く違う意見をもっています。これから社会を整えていくときにこのような違う意見をもっと取り入れていけると良いなと思いました。

B: 工業・産業の発展により世界はより豊かに便利になったけれど、自然などの長い年月をかけて蓄積されてきたものが失われていくことに複雑な気持ちになりました。失われていくものを取り戻したり、これ以上の損失を食い止める動きがあるので、そのような動きをもっと活発化したり、世界に知らせたりすることができたらいいと思いました。

5 課題と今後の展望

(1) 課題

2021年度の国際協働学習は、6月に「自己紹介」、7月に「自校でテーマの事前学習」、9月に「相手校とテーマ学習の共有」というスケジュールで実施しました。

しかし、自己紹介が7月までかかり、9月までに自校での調べ学習ができず、9～10月に相手と議論をして対話的・協働的な学習を深めることができなかった学校がかなりありました。テーマについて調べたことを相手と共有してから一度感想を返して時間切れというところが多く見られたことは残念でした。

原因としては、到達点が曖昧で見通しをもって学習を組み立てられなかったこと、生徒の自主性を重んじることが結果として成り行き任せになってしまったこと、「議論」とはどのようなことを教師も生徒もよく分かっていないことが考えられます。この課題をどのように解決するのか、JAMでは話し合いを重ねて支援体制を見直しました。

(2) 今後の展望

アートマイル国際協働学習のポイントは、相手と議論を重ねて自分たちの答えを見つけるところです。どうしたら課題を解決できるのか論点を明確にして議論を重ね、誰でも考えそうなありきたりな答えではなく自分たちならではの答えを見つけられるかが重要なポイントです。

JAMでは、2021年度の課題を踏まえて、9月～10月の協働学習が充実するように、カリキュラムを見直しました。また、協働学習のポイントを押さえて見通しをもって学習を進められるように、学習の流れと重要なポイントを示す資料を新たに作成し、いつ何をすれば良いかを示すTo Do リストを見直しました。

2022年度の参加校にこれらの資料を提示して、アートマイル国際協働学習が真に「生きる力」をつける学習となるように、支援体制のさらなる充実を図ることとしています。

■学習の流れと重要なポイント

国際協働学習で最も重要なポイント	
9月	10月
共有	融合
調べたことを相手と共有し、議論を重ねて学習を深める期間	
テーマ学習を相手と共有 <ul style="list-style-type: none"> 調べてまとめたことを伝え合う ※類似点や相違点を見つける ※自分たちの課題を世界の課題と繋げて考える <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> 感想を伝え、質問を投げかけ意見交換をして学習を深める 	論点を明確にして議論を繰り返す <ul style="list-style-type: none"> ・どうしたら課題を解決できるか話し合う ※ありきたりな解決策ではなく、自分ならどうするか自分たちの答えを見つける <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出た答えから次の問いを立ててさらに話し合う ※次の議論に発展するような問いを立てる ※批判的・多角的な視点で議論を掘り下げる <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を解決してどういう未来を創りたいのか自分たちに何ができるか議論する <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議論の中から生まれた想いを世界に発信するメッセージにまとめる
9/20までに調べたことを双方で共有し、9月中に一度は意見交換をする	意見交換を2回3回と繰り返して学習を深め、議論の中から生まれた想いをメッセージにする

(資料の一部)

■To Do リスト (2022年度版)

〈Step1 調べ学習〉 TO DO LIST

5月 導入

相手校や事務局からのメール、相手のフォーラムへの投稿には必ず一言返信をしましょう

- Check
- 生徒にアートマイルについて説明する
- 生徒にSDGsとは何かを理解させる

6・7月 調べ学習

協働学習はフォーラムで

相手校と調整

- SDGsから学習テーマを選ぶ
 - ・自分たちの学習テーマを選ぶ
 - ・相手と学習するテーマを相談する
- 学習スケジュールを立てる
 - ・自分たちのスケジュールを考える
 - ・相手と学習スケジュールを調整する
- フォーラムの使い方に慣れる
 - ・インフォメーションを読む
 - ・写真を添付して教師の自己紹介をする

お互いを知る

- 自分たちのことを伝える
 - ・クラスの集合写真に名前を付けて生徒のメンバー紹介をする
 - ・生徒の自己紹介や学校紹介は、授業時間数から判断して実施可能な範囲で行う
- 相手のことを教えてもらう

手書きカード
パワーポイント等

〈テーマ学習〉

- 相手と合意した学習テーマについて調べる
 - ポイント テーマ調べを通して社会で起きていることに関心を持ち、自分事にする
- 調べたことや自分たちが取り組んでいることをまとめる
 - ポイント テーマについて課題を見つける
- 取り組んだことを通して生徒の変化を見る

模造紙・新聞
パワーポイント等

※9月はそれぞれが調べたことを共有して、課題や解決について話し合います



〈Step2 共有〉 TO DO LIST

〈テーマ学習〉

Check

テーマ学習はできましたか？

- ・相手と合意した学習テーマについて調べた
- ・テーマ調べを通して社会で起きていることに関心を持ち自分事として捉えた
- ・調べたことや自分たちが取り組んでいることをまとめた

相手校や事務局からのメール、相手のフォーラムへの投稿には必ず一言返信をしましょう

9月 共有

自分たちが調べてまとめたことや見つけた課題をお互いに伝え合う

相手との類似点・相違点を見つける

自分たちの課題を世界とつなげて考える

相手と意見交換して学習を深める

- ポイント** ・相手に感想・質問・意見を求める
・相手に感想・質問・意見を返す

取り組んだことを通して生徒の変化を見る

- ポイント** ・相手に主体的に働きかける ・多様性を理解する
・グローバルな視点を持つ

※2学期の学校行事を見据えて、計画的に取り組みましょう！



〈Step4 創造〉 TO DO LIST

11・12月 創造

Check

想いを表す絵の内容や構図を相手と話し合う

- ポイント** イメージ：自分たちの想いをどのような絵に表すのか？
構図：どのように半分に分けるのか？
内容：具体的に自分たちのパーツに何を描くのか？

相手校や事務局からのメール、相手のフォーラムへの投稿には必ず一言返信をしましょう

【日本側：壁画制作】

壁画の半分を完成させる

- ★必ず「制作上の注意点」を読んで、注意を守ってください

描いている様子を相手校に伝える

相手校に半分描いた壁画と絵の具を送る

- 【国際宅配便】EMS・国際小包（日本郵便）、DHL、FedEx、UPS、SGH グローバルジャパン

相手校に宅配業者と追跡番号を知らせる

1・2月 【海外側：壁画制作】

壁画制作をしている相手にエールを送る

これまでの活動を振り返る

- ・相手が壁画制作をしている間にこれまでの活動を振り返りましょう
（模造紙・新聞・ワークシート等）

※海外での配達にはクリスマス時期が混みます。12月10日発送を目指しましょう。



〈Step3 融合〉 TO DO LIST

10月 融合

■相手と議論を深める

Check

テーマ学習で見つけた課題について論点を明確にして議論する

課題を解決するためにどうすれば良いのか、自分たちに何ができるか議論する

批判的・多角的な視点で議論を掘り下げる

■未来に向けた想いを言葉に表す

自分たちはどういう未来を創りたいのかを相手と考える

- ポイント** テーマについて相手と議論したことを基に考える

自分たちが望む未来に向けて何が出来るか相手と考える

議論の中から生まれた想いをメッセージにする

- ポイント** ・メッセージは相手と一緒に生み出す「新しい価値」です
双方の想いが十分反映されている独創的なメッセージを作しましょう
・昨年度の報告書「作品に込めた想い」の「メッセージ」を参考にしてください ※壁画の題（テーマ）ではありません

取り組んだことを通して生徒の変化を見る

- ポイント** 自分たちが未来を創る主体者だという意識が生まれたか

※協働学習の一番大事なところです。しっかり議論して学習を深めましょう！



相手校や事務局からのメール、相手のフォーラムへの投稿には必ず一言返信をしましょう



〈Step5 評価〉 TO DO LIST

3月 評価

Check

壁画を鑑賞する

- ポイント** 自分たちの学習の成果がどのように表れているか読み取る

学習全体を振り返る

- ・一人ひとりが振り返る（ワークシート等）
・クラス全体で振り返る（話し合い）

自己評価する

- ポイント** アートマイルをする前とした後でどのように自分の意識が変わったか
見つけて生徒が自己評価する

取り組んだことを通して生徒の変化を見る

- ポイント** 教師から見て生徒がどのように変わったか学習の成果を見取る

報告書を作成する

- ※全参加校の報告書をまとめて「2021年度国際協働学習実践報告書」として製本します

※評価は約一年間のプロジェクトの集大成です
海外校との協働学習の経験が、生徒さんにとっては将来の夢につながり
先生方にとっては今後の教育活動に活かされることを願っています



相手校や事務局からのメール、相手のフォーラムへの投稿には必ず一言返信をしましょう